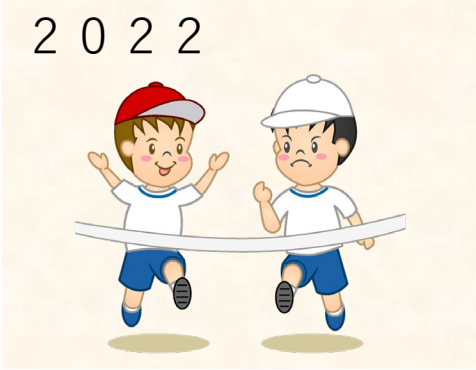
萌丘東幼稚園
萌丘東保育園　ほいくだより

ひがしっ子 10月



園長コラム

運動会への多くの皆様のご参加ありがとうございます。今年は祖父母にも観覧いただくことができて本当によかったです。待ちに待った運動会で感動はひとしおだったのではないでしょうか。聞けば、まだ保護者も観覧できない園もあるという話です。実施できたのは保護者の皆様の日頃の協力体制のおかげです。改めてお礼申し上げます。

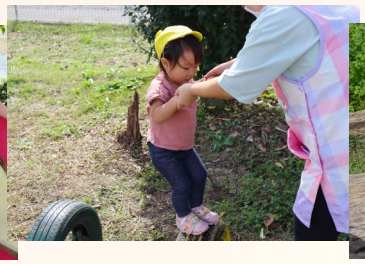
さて、今回は運動会の豆知識です。運動会のタイトルには、毎年必ず「楽しく！仲良く！みんなで頑張る萌丘の子」とあります。これは年齢に応じた保育の目標でもあります。年少は運動会を楽しむことが何より大切。年中はそこから広がって、自分だけではなく、友達と一緒に楽しむ＝仲良く。年長は友達と何かを成し遂げた体験＝みんなで頑張る。先生の手助けが「直接から見守る」に変化していることが、運動会を通して感じていただけたのではないかと思います。

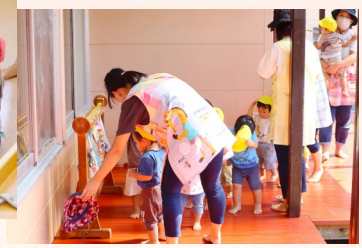
本当にこどもの成長には目を見張るものがありますね。ただそれには、そうなりたいと思える憧れる対象が必要です。こども達は目の前のことにいつだって全力ですから、憧れる対象が目の前にいなければ意味がありません。親や友達、先生に憧れて、「格好いいな・真似したいな」と感じながら生活してほしいと願っています。

０～２歳児クラスの１か月

いつだって親しみを感じて始まる

ちびっこうんどうかいも終わって、またひとつこども達と先生達の距離感が近づいたようです。私自身も今まで近づいてこれなかった子や泣いてしまっていた子にも違いを感じるようになりました。信頼できる相手が親から外に広がっていくことは成長の証です。親や先生、玩具や食事などの身近な人や物、出来事に対する意識が高まり、色々なことをやってみようとするする心が育っていってくれることと思います。

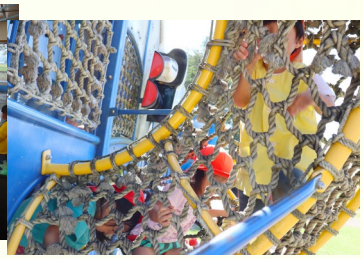




運動会を終えて

運動会が終わった次の週からは運動会ごっこをするのが東園の定番となっています。年長さんのリレーをみんなでやったり、年少さんのお遊戯をみんなでやったりと、やりたい種目を楽しんでいました。中には、先生の役をやる子も！やり切った後だからこその自信と開放感がこども達から溢れていました。また、それを見守る先生たちの表情もとても素敵で、こども達と先生たちが運動会を通して、共に大切な時間を過ごしたことが見て取れました。
年齢が大きくなるにつれ、こういった異年齢のかかわりが、こども達の自信や社交性に大きく影響していきます。

第２の園庭

季節は秋ということで、毎日のように農園に遊びに行くこども達の姿を見かけるようになりました。東園の農園は散歩で行ける距離にありますので、日常の中で遊びに行ける場所でもあります。わざわざバスに乗っていくような場所ではそうはいきませんので、こども達にとっても農園が親しみを感じられる場所になってくれているのではないでしょうか。

こども達にとって農園が第２の園庭となるような場所になって欲しいと思っています。園庭の芝生や木々とはまた違った自然を満喫する中で、自然を身近に感じる感性。多様性を自然と受け入れられる感性を身に着けていって欲しいと思います。